



▲鉄道安全大会



▲技術継承訓練

# 安全への取り組み

〔安全報告書 安全への取り組みの報告内容は、鉄道事業法で公表が義務付けられている「安全報告書」を兼ねています。〕

安心して鉄道をご利用いただくために、当社では安全輸送の完遂を経営の基底とし、さまざまな取り組みを行っています。安全統括管理者のもと、安全管理の体制を整備し、教育・訓練・技術継承など従業員を対象とした取り組みや、安全を確保するための鉄道施設や車両の整備などを日々行っています。

Safety



▲総合事故復旧訓練

## 安全統括管理者ごあいさつ

京阪電車は、皆さまに愛されて、おかげさまで100周年を迎えることができました。この間、まったく事故がなかったとは言えず、その都度事故防止の対策を講じて、「無事故京阪」の評価をいただくに至っております。

当社の安全基本方針の一番目には「安全最優先」を掲げております。申すまでもなく、鉄道輸送でもっとも大事なのは「安全」です。「安全」は、日々の努力の積み重ねがないと維持できません。経験則集に「起こる可能性の事故は、いつか実際に起こる」があります。それを起こさないためにはどうしたらよいか、常に考えて対処しなければなりません。過去の事故を掘り起こし、現状に当てはめてみたり、事故には至らなかったがヒヤリ・ハットした事例を皆で共有する取り組みをすることで、常に事故防止に正面から向き合っています。

人間は必ずミスを起こすものです。そのミスを事故につなげないために、新型ATSの開発など保安設備の充実を図るとともに、現場の係員にワンポイントで声かけをする地道な取り組みも広がっています。風通しがよく、意見が出し合える職場風土がなくては、事故の未然防止もできません。私自身も積極的に現場に出向き、一線の係員と意見交換をしています。ご利用のお客さまに、安心してご乗車いただけるよう、全力で努力してまいります。



安全統括管理者  
取締役常務執行役員  
脇博一